

難病コミュニケーション講座

# 意思伝達装置の現在・未来

昨今、目覚ましく進化する「意思伝達装置」を使い、患者さんとコミュニケーションをもっともっととろう!!!

～ ALS 患者をはじめ疾患によって自分の意思を伝える手法の一つの「意思伝達装置」現代の IT の進歩によってさまざまな機器などがあることを学ぶ会です。

看護師などの医療職、介護職をはじめ患者さんに関わる、あるいはこれから関わろうとする支援者の方にぜひ知っていただきたい内容です。～

【第一部】 13:40～14:40

講演： 伊藤史人先生（島根大学総合理工学研究科 助教）  
三保浩一郎氏（日本 ALS 協会広島県支部 支部長）

【第二部】 14:45～16:30

グループワーク “進化する「意思伝達装置」を実際試してみよう”

- ・視線入力（島根大学 伊藤史人先生）／(株)ユニコーン中島勝幸氏  
マイトビーC15Eye  
Tobii EyeX Controller とフリーソフト HeartyAI  
Tobii EyeX Controller と miyasuku 「EyeConLT」
- ・レッツチャット(パナソニックエイジフリーライフテック (株)松尾光晴氏)
- ・iPad iPhone の 1 スイッチ操作 (NPO 法人 ICT 救助隊)

日 時 : 平成 27 年 11 月 28 日 (土) 13:30～16:30

開催場所 : 広島市南区地域福祉センター (広島市南区皆実町 1-4-46)

参加費 : 無料

定 員 : 30 名

主 催 : 日本 ALS 協会広島県支部

共 催 : NPO 法人 ICT 救助隊

お問い合わせ、お申込は 11 月 22 日までに以下へ

日本 ALS 協会広島県支部 事務局 市川

Tel 082-831-6066 090-3742-6313(堀内)

Email shipshinobu@gmail.com